



三尾にルーツを持つリサ・堂前さん  
(ノースアイランド大学学長)

8月29日にBCオール  
県人会主催のオンライン・  
イベント「お国自慢・和  
歌山編」で、カナダの人  
たちに三尾を紹介しまし  
た。BCオール県人会は  
今年結成された、新しい  
世代の県人会です。  
三尾を実際に歩いてい  
るのを感じてもらいた  
め、今回はいつもの案内  
風景を動画にすることに  
しました。カメラに向かっ

カナダと三尾をつなぐ

オンラインイベント 三尾ツアー

語り部 だより



日本・カナダ商工会議所  
会頭のサミー高橋さん

て話すのは勝手が違うけ  
れど、心はちゃんと伝わっ  
たようで、画面の向こう  
の人たちは皆真剣に動画  
を見てくれていました。  
また三尾の今やこれか  
らについても、東大生の  
岩永くんや京都外大生の  
野口さんを招いて、ト  
テムポールや三尾でのゼ  
ミ活動について話しても  
らったり、三尾にルーツ  
のあるナナイモ在住の  
リサ・堂前さんに、現在

発行  
NPO法人  
日ノ岬・アメリカ村  
語り部部会  
Let's KATARIBE  
〒644-0045  
美浜町三尾778  
旧三尾小学校内  
TEL: 0738-20-9015  
URL: americamura.  
wakayama.jp



参加者へ手を振るジュニアメンバー

構想中の日加の学生交流  
の話もしてもらいました。  
様々な理由で三尾に来  
たくても来られない人た  
ち、一度行ってみたいと  
思っている人たちが海の  
向こうにたくさんいます。  
今回のイベントを通し  
て、オンラインならより  
多くの人に三尾を紹介で  
きるという手応えも感じ  
ました。  
三尾とカナダの架け橋  
になる、ジュニアたちの  
挑戦はまだ続きます。  
報告 出石



多くの方にオンライン上で繋  
がって喋るのは少し緊張したけ  
れど、何より楽しかったです。



カナダで動画をご覧になっ  
た方々が、故郷を思い出すきっ  
かけになれば嬉しく思います。



風の音で自分の声が通らなかつ  
たのですが、先生方の協力で無  
事に終えることができました。

オンラインイベントを終えて

短い文だったけど間違えない  
か緊張しました。外国のみなさん  
と早く直接交流できるようにな  
りたいと改めて思いました。

私は不安でいっぱいでした  
が、やってみると、とても面白  
く楽しくできました。

英語で話すのは難しかった  
けれど、外国の人に伝えること  
ができて、嬉しかったです。



# 講師紹介



講師スタッフの向井 忠晴(むかいただはる)です。主に語り部ジュニアたちが、三尾の郷土史や観光ポイントなどを英語でガイド(発信)できる力を身に付ける研修を担当しています。

英語はコミュニケーションの道具です。文法的な正確さは必要ですが、ジェスチャーや言い換えなどで補うことも可能です。研修には英語を使って伝える練習として、ゲームや発表などのアクティビティを取り入れています。言葉は使うことを通して、間違いを訂正しながら、らせん状に獲得されると言われています。

今後もジュニアたちが、楽しみながら、英語に慣れていくお手伝いをしていきます。どうぞよろしくお願ひします。

大賀池への  
フィールドワーク  
7月11日は、大賀蓮を  
観に大賀池に行きました。  
いつもなら、大賀博士  
の命日にあたる6月15日  
頃に咲き始めますが、こ  
の日開花しているのはわ  
ずか三輪。まだ蕾のもの  
もちらほらとありました。  
しかし、鮮やかなピン  
ク色をした大賀蓮はとて



大賀蓮を眺める

もきれいで、いつまで眺  
めていても飽きないほど  
でした。初めて大賀池に  
来たジュニアたちは、興  
味深く眺めていました。  
大賀蓮を観た後は、磯  
辺に下りて、海猫島を眺

# 三尾の自慢・見どころ紹介 房州音頭

「ヤ〜トセ〜エ」の囃子に  
合わせて、足を大きく前に  
運び、体をねじり両手を力  
強く跳ね上げて踊る。これ  
が三尾の「房州音頭」です。

「清<sup>せ</sup>左<sup>ざ</sup>口<sup>く</sup>説<sup>と</sup>」<sup>せえざくとく</sup>「かるかや  
父子の対<sup>たい</sup>面<sup>めん</sup>」など昔の物語  
を歌詞に、横<sup>よ</sup>笛<sup>び</sup>や鉦<sup>かね</sup>、太<sup>たい</sup>鼓<sup>こ</sup>  
に合わせて踊ります。最近  
では、工<sup>く</sup>野<sup>の</sup>儀<sup>ぎ</sup>兵<sup>べい</sup>衛<sup>ゑい</sup>翁<sup>おう</sup>を偲<sup>しの</sup>ぶ  
詩<sup>し</sup>をつけた新しい盆<sup>ぼん</sup>踊<sup>どり</sup>り歌<sup>か</sup>



平成2年盆踊りの映像より

が作られています。  
「房州音頭」は、江戸時代  
に三尾の漁師たちが、千葉  
房州へ出<sup>で</sup>移<sup>り</sup>ぎ<sup>い</sup>漁<sup>り</sup>に行<sup>き</sup>た際<sup>ばい</sup>  
に、持<sup>も</sup>ち<sup>ち</sup>帰<sup>か</sup>り<sup>り</sup>伝<sup>でん</sup>わ<sup>わ</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>と  
言<sup>い</sup>わ<sup>れ</sup>て<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。

しかし、過去に先人たちが調査しましたが、すでにこの踊りは千葉では消滅しており、詳しい歴史などはわかりませんでした。

盆踊りは、一昨年の台風や今年もコロナの影響を受け、3年続けて中止となりました。先人たちにより踊り継がれてきたこの踊りを、これからも継いでいきたいです。

編集後記  
当NPO法人が、紀伊  
日ノ御崎灯台の一般公開  
事業の管理者として承認  
を受けました。民間への  
委託は、全国でも初めて  
であり、これを機に、日  
ノ岬に活気が戻ってほし  
いと願っています。(み)



海猫島をバックに撮影

めました。そこでは、三  
尾に伝わる「岩になった  
娘」の話を紹介しました。  
今年、海猫の姿を漁

防空監視所跡への  
フィールドワーク  
7月25日、公民館の裏  
山にある穴場スポットへ  
行きました。それは防空  
監視所跡。  
地元の人の手によって

報告 三尾

港で見かけたものの、島  
では見かけられませんでした。  
来年は、やって来  
て欲しいものです。

草木が刈られ、登りやす  
くなっている。5分ほど  
登ると、そこは異空間。  
ただの山中のように見え  
るが、確かに「歴史の跡」  
がある。戦時中、三尾や  
周辺からきた人たちが、日  
本兵はここで敵機を監視  
しながら何を思い、話し  
たのだろう。  
三尾の町並みや青く輝  
く海を見て、兵士達も疲  
れた心や体を癒やしたの



異空間の防空監視所跡

報告 上山

だろうか。  
移民の歴史とはまた違  
う歴史を感じられる、学  
びと癒やしの穴場スポッ  
トでした。